



市民活動のシンボルマーク「あの手この手」
Solution(解決)のSを表しています。

令和6年度 大和市 市民活動推進補助金 事業報告書



大和市イベントキャラクター ヤマトン

大和市 つながり推進課 / 大和市民活動センター

目次

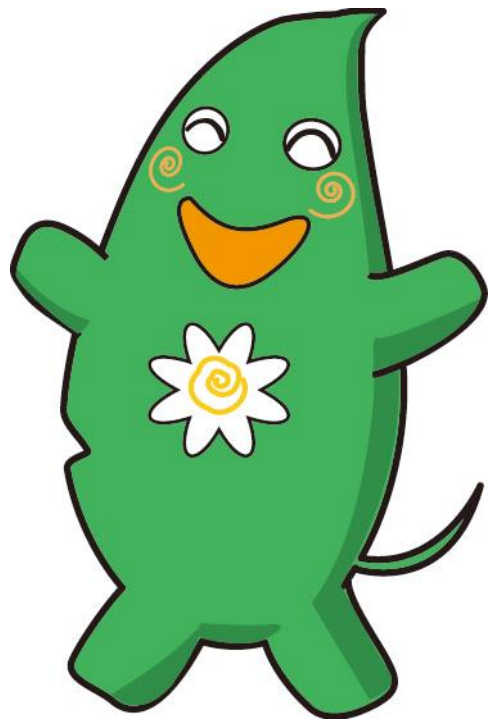
1. やまとで生きた人々への聞き書き：Time and Place Project
「歴史工房やまと（History Workshop in Yamato）」… 1
2. 地域活性化による交流事業
「NPO 法人 lagraine ラグレーヌ」… 6



大和市イベントキャラクター ヤマトン

1. やまとで生きた人々への聞き書き：
Time and Place Project

「歴史工房やまと（History Workshop in Yamato）」



大和市イベントキャラクター ヤマトン

事業報告書

団体名	歴史工房やまと (History Workshop in Yamato)	
事業名称	やまとで生きた人々への聞き書き : Time and Place Project	
補助区分	めばえ ・ はぐくみ	
補助金額	50,000円	
事業の目的	大和で生きた人々のライフストーリーを市民の目線で聞き、聞き書きをしていく。「聞き書き」は街の無形の文化遺産であり、その「聞き書き」を基にした「オーラル・ヒストリー」の考え方を広く市民に知ってもらうようにする。そして、聞き書きの実践に参加する人々を増やしていく。	
事業の内容	＊オーラル・ヒストリーの周知 「歴史を考察するための聞き書き」である「聞き書き/オーラル・ヒストリー」とは何かを知ってもらうために4月からワークショップを開催し、聞き書きの専門家、市内の歴史専門家に講義してもらった。8月以降は実際に聞き書き/オーラル・ヒストリー研究をしている方のお話を聞いた。12月からは大和で活動してきた方の人生やファミリーヒストリーを皆で聞く座談会形式の聞き取りを実施した。 並行して、インタビューの方法の講義を合計4回実施し、併せて会員有志でインタビューの実際を経験した。合計5人へのインタビューは、大和における聞き書きのパイロットインタビューとなっている。 こうした活動を通じてオーラル・ヒストリーへの周知に努めた。	
実施場所	大和市内	
参加人数	のべ118人（講師、無料講座の参加者含む）	
事業実施の経過	実施日時	実施内容
	4月9日	打ち合わせ
	4月21日	打ち合わせ
	4月27日	第1回ワークショップ
	5月18日	第2回ワークショップ
	6月15日	インタビュー講座
	6月22日	第3回ワークショップ
	7月13日	第4回ワークショップ

	7月17日	打ち合わせ
	8月7日	インタビュー実践
	8月24日	第5回ワークショップ
	8月25日	打ち合わせ
	9月30日	インタビュー実践
	10月26日	第6回ワークショップ
	11月12日	インタビュー講座（初級編）第1回
	11月16日	打ち合わせ
	11月28日	インタビュー講座（初級編）第2回
	11月29日	打ち合わせ
	12月1日	第7回ワークショップ
	12月12日	インタビュー講座（初級編）第3回
	1月26日	第8回ワークショップ
	2月8日	第9回ワークショップ 活動報告・会計報告
事業の成果	9回のワークショップ、4回のインタビュー講座、会員によるインタビューの実践によって、歴史工房やまが目指す「聞き書き/オーラル・ヒストリーの価値と社会的意義」について共感してくださる方が増えた。学問的なオーラル・ヒストリーを超えた、一般市民によるオーラル・ヒストリーへの道を拓く可能性が出てきた。	

事業のふりかえり

・事業の必要性や市民のニーズを感じましたか（公益性）

普通の人々の経験を後世に残すことは大事だという意見を数多く聞いた。聞き書き/オーラル・ヒストリーの価値をさらに伝えて、具体的な方法を示すことが求められていると感じた。

この一年間の後半に会員複数でインタビューを行い、それを書き起こし、文章化する過程を経験した、出来上がったインタビューを市民の方にお見せしたところ、自分も話したいという方が多数おられた。

・当初計画したスケジュールどおり実施できましたか（計画性）

前半7月までで聞き書き/オーラル・ヒストリーとはいかなるものかについてお伝えして、後半は実際に聞き書きの過程についてお話することを計画していた。ワークショップでは、後半は聞き書きの実例を紹介していったが、書くよりも座談会で話すことで歴史を考えたいという意見が多かった。しかし、並行して、何人かの会員の方と一緒にインタビューをして、インタビューの録音、書き起こし、文章化の過程を経験していただいた。この過程が、聞き書きの体験をしていただくこととなったと言える。一年間実施してみて、市民の聞き書き/オーラル・ヒストリーは地域アイデンティティを高めていくための座談会と後世への資料として残す書き起こしインタビューの収集を並行して行うべきであろうと気づいた。

・スタッフの能力を発揮して効果的にPRや事業が実施できましたか（能力）

高齢の方、病気の方、家族が病気になられた方があったので、無理をお願いできなかった。しかし、いつも精神的なサポートをいただいていたことが大きな支えとなった。Emotional Supportも重要な協力として受け止めて活動をした。

PRについては、多様なグループの人に接してお誘いする努力をした。自治会の方、生協の方、市民団体の方、専門家の方、などにアピールをしていった。また、市役所にある「誰でも掲示版」には毎月イベントの掲示をさせていただいた。また、生涯学習センターのうち、掲示をさせていただくところには、案内ちらしを掲示してもらった。自治会の掲示板にも掲載をお願いしてみた。また、オーラル・ヒストリー学会のメーリングリストに呼びかけもしてみたので、横浜や鎌倉の方も参加していただけた。また一度参加された方には、毎回案内メールを送った。

・当初の予算どおり実施できましたか（費用の妥当性）

周知のためのワークショップの回数を増やしたので、そのためのちらし作成費用、講師料が増えたが、その分、参加者も増えたので、全体的に当初の予算を大きくは超過していなかった。

・今後事業の継続が期待できそうですか（継続性）

今年度の活動で、私たちの意図していることが有意義であると理解してくださる方が増えたので、来年度はインタビューを重ねることによって、実績を増やしながら、継続していけると考えている。

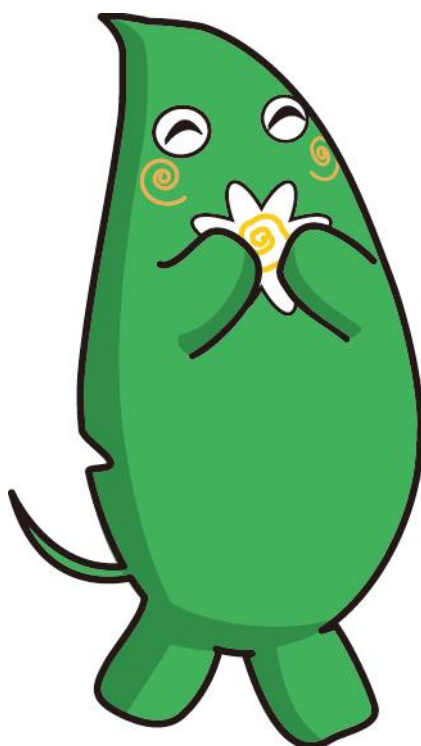
第8号様式

補助事業収支決算書

1 収入の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
参加費	21,000	25,800	4,800	一人300円×86人=25,800円
資料代	14,000	20,400	6,400	一人200円×102人=20,400円
補助金	50,000	50,000	0	市民活動推進補助金
寄付	0	6,800	6,800	講師から5,000円、参加者から1,800円
団体より負担	0	6,881	6,881	
合 計	85,000	109,881	24,881	
2 支出の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
賃借料	12,100	13,500	1,400	会議室(200円×50時間、100円×11時間) プロジェクター(300円×8回)
報償費	20,000	38,000	18,000	10,000円×2人、5,000円×3人、 3,000円×1人
消耗品費	18,200	45,469	27,269	コピー・プリント代:12,344円、 インク・トナー代:21,848円、 文具等消耗品代:3,922円、用 紙代:7,355円
冊子作製費	27,500	5,137	△22,363	用紙代:2,241円、トナー代: 2,896円 部数50部⇒30部
通信運搬費	7,200	7,775	575	切手、レターパック
合 計	85,000	109,881	24,881	

2. 地域活性化による交流事業

「NPO 法人 lagraine ラグレーヌ」



大和市イベントキャラクター ヤマトン

事業報告書

団体名	NPO 法人 lagraine ラグレース	
事業名称	地域活性化による交流事業	
補助区分	めばえ ・ はぐくみ	
補助金額	200,000円	
事業の目的	商店街衰退対策を中心に地域活性化を行い、子どもから高齢者まで幅広く集まれる交流の場を作り上げる。	
事業の内容	① 2024年10月13日 鶴間駅側二条通り商店街にてマルシェ開催 ② 2024年11月23日 やまと公園にてマルシェ開催	
実施場所	① 鶴間駅側二条通り商店街 ② やまと公園	
参加人数	① 商店街：約1300名 ② やまと公園：約800名 (写真上の人数×時間×面積にて算出)	
事業実施の経過	実施日時	実施内容
	4月2日	にじいろ Yamato マルシェ実行委員会打合せ
	4月11日	二条通り商店街振興組合 理事会参加
	5月2日	大和市公園管理事務所 企画書提出
	5月9日	二条通り商店街振興組合 理事会参加
	5月13日	にじいろ Yamato マルシェ実行委員会打合せ (オンライン)
	5月26日	にじいろ Yamato マルシェ実行委員会臨時打合せ (オンライン)
	6月10日	にじいろ Yamato マルシェ実行委員会打合せ (オンライン)
	6月11日	大和市後援名義使用申請提出
	6月13日	二条通り商店街振興組合 理事会参加
	7月8日	にじいろ Yamato マルシェ実行委員会打合せコロナ感染により中止
	7月13日	二条通り商店街振興組合 理事会コロナ感染により不参加

	8月8日	二条通り商店街振興組合 理事会参加
	8月12日	にじいろ Yamato マルシェ実行委員会打合せ (オンライン)
	8月20日	道路占用許可申請
	8月26日	大和市公園管理事務所正式予約
	9月2日	10月4日までに商店街ご挨拶53件
	9月2日	大和警察道路使用許可申請
	9月9日	にじいろ Yamato マルシェ実行委員会打合せ (オンライン)
	9月11日	二条通り商店街振興組合 理事会参加
	9月17日	にじいろ Yamato マルシェ実行委員会臨時打合せ
	10月5日	西鶴間自治会会長打合せ
	10月11日	ヤマトン引き取り、西鶴間自治会館鍵預かり
	10月12日	綾瀬市バザール商店街より椅子50脚無償にて借用
	10月13日 10月15日	にじいろ Yamato マルシェ(商店街)開催 ヤマトン返却
	11月5日	大和市公園管理事務所 支払い
	11月11日	にじいろ Yamato マルシェ実行委員会打合せ (オンライン)
	11月14日	二条通り商店街振興組合 理事会参加
	11月22日	ヤマトン引き取り
	11月23日	にじいろ Yamato マルシェ(やまと公園)開催
	11月25日	ヤマトン返却
	12月2日	商店街ご出店者様、歩行者天国エリアご挨拶

事業の成果	予想以上の来場者に商店街振興組合様も驚愕なさり、ご出店されなかった他の商店さんも当日の売り上げが上がったと嬉しいお声を頂いた。 何名もの来場者様から今後の継続的な開催を望む声を頂いた。 商店街振興組合様からは 2025 年も継続のご依頼を承った。 公園では親子連れはもちろんの事、ご年配の来場者様も多く見受けられ、商店街とは違った雰囲気になった。 一般のご出店者様の反響が大きく商店街開催後 1 週間でやまと公園のブース枠が定員オーバーとなった。
-------	--

事業のふりかえり	
・事業の必要性や市民のニーズを感じましたか（公益性） 通常の二条通り商店街は車の行き来が頻繁で、商店街が南北に長く、更に閉店したお店が多かった為、お店に足を向ける人が少なく通過地点となっていた。 鶴間駅から近い今回の開催地は絶好の集客環境だった為、西鶴間自治会へコンタクトを取り回覧板へ情報を流す事ができた。その結果誰もが驚愕するような集客を実現でき、又ご出店頂いた既存の商店の方々からはとても喜びのお声を頂戴した。 やまと公園では商店街よりも子どもとのつながりが多いマルシェとなった。 日ごろから団欒目的でやまと公園に遊びに来ている親子連れも滞在時間が普段より長くなり、とても有意義な時間を過ごす事ができたと声を頂いた。 このように準備こそは大変だが何かを変えないと何も変わらない。商店街や自治会メンバーが高齢者となっている現在、行動できる若い力の第三者の団体が、地域活性化するべきと考える。	
・当初計画したスケジュールどおり実施できましたか（計画性） 後援名義を取得すれば道路占用許可申請が可能という事を把握していなかった為、当初予定していたスケジュールより遅れたが、結果、申請はすべて通り、期日までに間に合う事ができた。 やまと公園は測量し簡単に配置を組む事が出来たが、商店街は何度も何度も足を運び測量を行ったおかげで当日は予定通りのイメージで行えた。	
・スタッフの能力を発揮して効果的に PR や事業が実施できましたか（能力） 市民活動センターのご紹介によりとても心強いボランティアさんが助けて下さった。 やまと公園は当団体のメンバーとボランティアさんもリピートしてくださり商店街よりも子どもとの関わりを楽しんで下さった。2 名のボランティアさんが 2025 年も継続される予定。	
・当初の予算どおり実施できましたか（費用の妥当性） キッチンカーの出店料が高いとキッチンカーよりご指摘頂き減額した。一般のブースも予想以上に子ども店長が多く収入面が減少したが、やまと公園の使用スペースを減少させる事でなんとかバランスを取る事が出来た。	
・今後事業の継続が期待できそうですか（継続性） このような事業は初回が一番困難であり、2025 年以降は要領良く開催回数を増やして行きたい。2025 年はやまと公園 2 回 商店街 1 回を既に計画進行中。	

第8号様式

補助事業収支決算書

1 収入の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
マルシェ出店料 (公園)	125,000	74,000	△51,000	キッチンカー (4,000円×5台) 一般 (3,500円×15店舗) 1店舗子ども店長シェアの為 1,500円 その他7店舗子ども店長等の無料 店舗
マルシェ出店料 (商店街)	45,000	39,000	△6,000	キッチンカー (4,000円×3台) 一般 (1,500円×18店舗) 他11店舗子ども店長等の無料店舗 商店街より9店舗参加
補助金	200,000	200,000	0	令和6年度大和市市民活動推進補 助金
参加費	0	3,280	3,280	野菜重さあてクイズ参加費 10月13日 20円×69回 (1,380円) 11月23日 50円×38回 (1,900円)
団体自己資金	0	1,707	1,707	団体より補填
合 計	370,000	317,987	△52,013	

2 支出の部				
区 分	予 算 額	決 算 額	増減(△)	説 明
大和市公園使用料	120,000	30,874	△89,126	一般2m×2m 30店舗 キッチンカー2m×5m 5台 本部、ダンススペース
道路使用許可	2,000	2,000	0	大和警察（商店街歩行者天国）
消耗費	30,500	45,252	14,752	のぼり旗6枚・のぼりポール6本 (24,288円) 三角コーン&バー (8,684円) 景品代 (4,262円) ゴミ袋代 (640円)
印刷製本費	21,500	21,511	11	A4：1,200枚×1回 (7,581円) A3：2,100枚×1回 (13,930円)
人件費	53,376	26,688	△26,688	2人×2回×6時間×1,112円（本部）
委託料	120,000	109,200	△10,800	ガードマン・カメラマン・デザイン委託
有償ボランティア	10,000	0	△10,000	マルシェ内クーポン券発行に切替 (10人×1,000円)
事務用品	12,624	18,892	6,268	コピー用紙、インク代、切手代、 その他
保険料	0	10,000	10,000	イベント保険（2日分）
自治会館使用料	0	2,900	2,900	西鶴間連合自治会館
雑費	0	50,670	50,670	マルシェ内クーポン券換金分 クーポン券種：10円、100円、 300円、500円、1000円 10月13日 11店舗換金 (24,320円) 11月23日 13店舗換金 (26,350円)
合 計	370,000	317,987	△52,013	

市民活動推進補助金に関するお問い合わせは

大和市 市民経済・にぎわい創出部
つながり推進課 市民活動サポート係
☎046-260-5103

大和市民活動センター
☎046-260-2586